

○サッカー部キャプテンにインタビュー

○れいめい教職員コラム

○ジャンプアップれいめい中学生！生徒の成長を紹介

○四コマ劇場「タフだぜ！たふやん」

れいめい中学校があなたの成長を応援する広報誌

サッカーと家族とぼく



中学3年生
みぞうえ りょうや
溝上 凌矢さん
(西出水小出身)



▲インタビューはお母さんにも
ご協力いただきました。



▲チームは6月の地区総体で
優勝しました！！



サッカー部キャプテン溝上凌矢さん。小学生の時
もキャプテンを務めていた凌矢さんは、常に全力で応
援してくれる両親のもとで育ちました。

そんな凌矢さんに、これまでのことにつ
いてインタビューしました。

— サッカーは、いつから始めたんですか？

年中の時からです。物心ついたころにはサッ
カーをしていたと思います。

— お父さんもサッカー経験者だとお聞きました。

はい、れいめい高校で選手権にも出場していま
す。サッカーのセンスもすごいし、教えてくれる時
も、わかりやすく納得できることを言ってくれます。

— 一年中さんで始めたときからお父さんに教えてもらっ
ていたんですか？

いえ、父からは小学三年くらいまで指導されるこ
とはありませんでした。それまでは、一緒にサッカー
で遊んでくれていて、僕はいつのまにか楽しんでや
るのが当たり前になってました。今でもサッカーが
楽しくできているのはそのおかげかもしれません。

— 現在もキャプテンとして楽しみながらチームを引っ
張っているんですね。

れいめいでは、監督の日高先生が選手の気持
ちを理解してくれているから、楽しめているんだと思
います。よく見てくれていて安心感があります。

— 今後の目標を教えてください。

父の影響もあって、高校で選手権出場が目標
です。中学では、一部リーグへの昇格と県総体
で結果を残すことを目標にしています。それから、
大事な場面や試合では緊張しやすいので、プレッ
シャーに打ち勝てるよう頑張ります。

ご両親は、凌矢さんを応援し、時には教える中
で、声掛けや関わり方を学びながら、凌矢さんと
一緒に成長してこれたそうです。親子共に成長し
ている楽しくあたたかいご家族でした。

学びたいを支えたい

— れいめい教職員コラム —

あなたを応援したい教員が、交替で書くコラム。
内容は、勉強のことから趣味のことまで様々です。

心待ちにしています。

このかけがえのないきらきらの時代を、れい
めい中学校で共に学び、過ごしたいと思っ
なさんと、この夏にも新しく出会えることを

の成長過程はともきらきらとしていて、か
けがえのない時間だと感じています。自分自
身を振り返ってみても、今の自分の考え方や
判断基準の土台は、はるか昔の中学時代が原
点だと思えますね。

学校の先生って、いちばん大変じゃないです
か？」と驚きとともに言われることがあります。
す。そういうときは必ず、「大変なことでも確
かにあるけど、楽しいこともそれ以上に多いで
すよ」と答えています。

「きらきら」



3年生担任
木屋尾 かおり
(水引小出身)
教科：国語

ジャンプ U P れいめい 中生!



れいめい生徒会所属のくま(?)
不屈不撓の心をもつ「たふやん」
の日常を描く四コマ劇場

中学3年生
むらた ゆうき
村田 結希さん
(八幡小出身)
(鹿児島市)



『楽しい』を
仕事にしたい」

小学校では金管バンドに入っていたという結希さん。現在は管弦楽部でパーカッションをしています。

「楽しかったから、まだ楽器をやっていたいと思いました。」

次は新しい楽器に挑戦しようと思っていた結希さん、パーカッションを始めてから、新しい経験や知識が増えて、さらに楽しくなってきたそうです。

結希さんのもうひとつの楽しみが、パソコン同好会です。もともと動画や音楽の編集に興味があって、入部しました。仲間と始めたゲーム制作は、順調にいけば高3の卒業までには終わるという長い道のりです。「ゲームを作り始めてその大変さがよくわかりました。でも、新しい知識が増えていくのが『楽しい』んです。」

結希さんは、少しずつ仲間と試行錯誤して取り組む中で感じた、『楽しさ』を将来仕事にしたいと思いました。現在の夢はゲームクリエイターになること。結希さんと同好会の仲間が卒業するころ、彼らの作ったゲームがプレイできるのが楽しみです。



養殖

中学3年生
てらやま あや
寺山 文さん
(可愛小出身)



「チームの力になる」

小2からバスケットを始めた文さん。れいめい中でプレーしていく中で、ボールやルール以外にもミニバスとの違いを感じたそうです。

「選手同士の関係性の違いを感じました。先輩後輩の関係や同級生とのかかわり方、チームメイトとの接し方を

普段からちゃんとしていると、試合中もコミュニケーションがスムーズです。」

自分のプレーにも変化を感じたという文さん。

「小学校までは、自分で点を取りに行く場面が多かったんです。中学生になって、ポジションも変わって、直に点数を入れなくても、味方を生か

すようなプレーをするようになりました。」

自分の役割を自覚し、チームの力になることで大きな成果を得られることを知った文さん。今後のチームの目標は、県大会で圧勝し、九州優勝、全国ベスト4を達成すること。文さんと、チームの活躍が目に見えます。

イベント告知

〇〇×□□で、わかる! できる!!
かける

国語 × 家庭科 理科 × 保健
国語 × 英語 数学 × 技術 音楽 × 社会



7 / 1 6 (土) 一日体験入学

申込み、詳細はチラシ、ホームページから



れいめいの情報が満載のホームページはこちら▲